

みらいの里さくら「里山フェス」開催！

11月19日（土）、佐倉市六崎にある「みらいの里さくら」で、「里山フェス」が開催されました。

【里山整備の活動】



「みらいの里さくら」は、約3,000坪の敷地に小型犬/大型犬用ドッグランを始め、カフェや菜園、竹林などがあり、人と愛犬とが自然の感動を共有できる里山として、今年4月にオープン。環境保全の一環として取り組んでいる里山整備活動を知って貰うとともに、愛犬と一緒に秋の里山を満喫して貰おうと、今回初めて「里山フェス」が開催されました。

竹林では、里山の整備活動を毎月行っている「里山整備隊」が日頃の作業を実演。間伐した竹を適当な長さに切り、水分を逃すために切れ目を入れ燃やして炭化します。炎が上がるなか、次々と竹がくべられていました。また、愛犬と散歩ができる散策路の整備も行われ、細い竹と太い竹を組み合わせながら、息の合った作業で一段ずつ階段を補強していました。



散策路を整備中！



【バイオ炭作り】

里山整備には、国立環境研究所気候変動適応センター気候変動影響観測研究室長の西廣 淳博士を中心に、教え子の学生や資源循環型農業に取り組む地域の団体、そして、「みらいの里さくら」が目指す“CO2削減・脱炭素を取り入れた持続可能な未来型複合施設”に共感する市内外の有志約20名が参加。そのなかの一人、里山整備活動に参加する大学院生は、「脱炭素に企業が取り組み、里山の自然を活かしながらどのように気候変動にアプローチしていくのか興味深い事例です」と話します。女性たちは主に朽ちた竹を拾い集め、男性の参加者はバイオ炭作りに汗を流し、竹炭の火でカボチャやサトイモ、サツマイモなどを焼いていました。また、バーベキューも行われ、昼食時には肉や野菜、サツマイモなど、皆さん、できたてを美味しく頬張っていました。



西廣 淳博士



朽ちた竹を拾い集め中



竹炭の火で焼かれるサトイモやサツマイモ



できたては美味しい～！



竹炭の火でバーベキュー

【里山マルシェ】

来場者の人気を特に集めていたのは里山マルシェ。手作りの犬の洋服や迷子札のチョーカー、ワンダフル占いなど、犬に関する出店のほか、パンや新鮮野菜の販売なども行われ、愛犬たちで賑わいました。小型犬を中心とした手作りウェアの店では、手頃な価格が目を引き、その場で愛犬に試着させる飼い主の姿が見られました。



鹿革のチョーカー



ハンドメイドの洋服



犬の生年月日から導き出すワンダフル占い



エムクッペ



南房総の花やトマト、成田産のサツマイモなどを販売



バイオ炭を入れて栽培された農薬・化学肥料不使用の野菜と米



竹の灯ろうや一輪挿しなどの作品

「NPO富里のホタル」による竹のワークショップ

【里山JAZZコンサート】

「里山フェス」のクライマックスは、ジャズサクソ奏者の佐藤洋祐さんをゲストに迎えた里山JAZZコンサート。佐藤さんは、「音楽も生きもの、素朴な音楽を自然のなかで楽しんでください!」と呼びかけ、佐藤さんが主宰する佐倉キッズジャズバンドや佐倉シニアジャズ合唱バンドとともに演奏や歌声を披露しました。ジャズのスタンダードナンバーはもちろん、観客と一緒に声を合わせて歌う場面もあり、自然を舞台にした生演奏に大きな拍手が送られました。

この日は、天候にも恵まれ、ドッグランでは元気いっぱい走り回る犬たちの姿が夕刻まで見られたり、愛犬家同士で声を掛け合い交流するなど、里山の澄んだ空気に包まれながら、人も犬も秋の一日を楽しく過ごしていました。

「みらいの里さくら」代表の村山とよ子社長は、イベントを通じて環境問題について身近に意識していただきたいと期待を寄せるとともに、コミュニティの場作りとして今後も半年に1度はフェスを開催していきたいと話していました。



ジャズサクソ奏者
佐藤洋祐さん



佐倉キッズジャズバンド



佐倉シニアジャズ合唱バンド

